

2025年1月30日  
商工中金

## トレーラーハウスを製造する株式会社カンバーランド・ジャパンに対し、 ポジティブ・インパクト・ファイナンスでサポート

株式会社商工組合中央金庫（本社：東京都中央区、代表取締役社長：関根 正裕 以下商工中金）の長野支店は、株式会社カンバーランド・ジャパン（本社：長野県長野市、代表者：原田 英世）に対し、サステナブル経営に必要な資金として1億円を融資しました。本融資については、ポジティブ・インパクト・ファイナンス（※）を適用しています。

同社は、トレーラーハウスの製造やレンタル事業を手掛けています。多数の特許・実用新案を保有するなど開発力を強みに、居住・店舗用から災害時の仮設住宅まで、多様な顧客ニーズに柔軟に対応しています。

今回同社は、有事の際の製品供給のための自治体との更なる防災協定締結や、省エネルギー型トレーラーハウスの取扱い数拡大等の取組みを通じて、一層の成長を図るため、サステナビリティに関するKPI（注）を設定。環境経営を通じて、経営の持続可能性を高め、経済的価値の向上のみならず、社会的価値の向上や働き手の幸せを実現していきます。

（注）同社KPI詳細は、商工中金HP掲載の「[ポジティブ・インパクト・ファイナンス評価書](#)」をご覧ください。

商工中金は、現地訪問や経営者との対話を通じた綿密な事業性評価を行い、株式会社商工中金経済研究所と連携してインパクト評価を実施。株式会社日本格付研究所（JCR）より第三者意見書を取得し、同社の強みと課題そして目標（KPI）を共有。同社の企業価値向上のために必要な資金をポジティブ・インパクト・ファイナンスにて融資するとともに、目標達成に向けた取組みをサポートし、伴走支援していきます。

商工中金は、持続可能な社会の実現に向けて、中小企業の皆さまのサステナブル経営の取組みを積極的にサポートしてまいります。

### 【株式会社カンバーランド・ジャパンの概要】

|      |                  |
|------|------------------|
| 所在地  | 長野県長野市豊野町浅野 1778 |
| 代表者  | 原田 英世            |
| 資本金  | 1,000万円          |
| 従業員数 | 41名（2025年12月時点）  |
| 設立   | 1995年1月          |
| 業種   | トレーラーハウス製造       |



【同社製品】

# NEWS RELEASE

## SHOKO CHUKIN BANK



### (※)「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」について

ポジティブ・インパクト・ファイナンスとは、企業活動が環境・社会・経済に対して与えるインパクト（ポジティブな影響・ネガティブな影響）の包括的な分析・評価、サステナビリティに関する目標設定とモニタリング、及び資金供給を通じ、企業の「社会的価値」「働き手の幸せ」「経済的価値」を総合的かつ持続的に高めていくことを企図した「伴走支援型融資」です。

本融資スキームは、国連環境計画金融イニシアチブ(UNEP FI)が公表したポジティブ・インパクト金融原則に準拠しており、商工中金および商工中金経済研究所がインパクト評価書を作成し、セカンドオピニオンとして(株)日本格付研究所より第三者意見書を取得しています。

